



Fiery FreeForm Create

© 2024 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2024年12月11日

目次

Fiery FreeForm Create	5
システム要件	5
FreeForm Create 環境設定	6
FreeForm Create 環境設定の変更	6
ファイルマージワークフロー	7
マージ書類の作成	7
デザインファイルの変更	8
ファイルマージのデザインにバリアブルページを割り当てる	9
ファイルマージのデザインにページを追加する	9
ファイルマージのデザインからページを削除する	10
ファイルマージのデザインのプレビュー	10
バリアブルデータ書類ワークフロー	11
データソース書類の作成	11
データソース書類にレコード数を追加する	12
バリアブルデータ書類の作成	13
バリアブルデータ書類デザインでファイルを変更する	14
バリアブルフィールドの追加	14
バリアブルフィールドプロパティ	15
リッチテキスト書式を使用してテキストを書式設定する	20
テキスト変数の角度を変更する	21
画像の角度を変更する	21
バーコードの方向を変更する	21
バーコードへのカラーの適用	22
変数の配置	22
プロパティウィンドウのフロート表示とドッキング	23
レイアウトアシスタンスツール	23
すべてのページにコピー	24
バリアブルフィールドの削除	24
バリアブルフィールドの複製	24
マルチ-up マスターを使用する	25
変数ベースのデザインをプレビューする	25
デザインの保存	26

Fiery サーバーにデザインを送信する	27
単一レコードの PDF プレビューを保存する	27
レコード範囲を Fiery サーバーに送信する	28
小さいバッチで Fiery サーバーにデザインを送信する	28
FreeForm Create を使用する Fiery サーバーを管理する	30
FreeForm Create から印刷する Fiery サーバーを追加する	30
FreeForm Create で使用されている Fiery サーバーを削除する	30

Fiery FreeForm Create

Fiery FreeForm Create はスタンドアロンのバリエブルデータ作成アプリケーションで、Fiery FreeForm バリエブルデータ印刷（VDP）テクノロジーに基づいて構築されています。

メモ：本書では、「FreeForm Create」という表記は「Fiery FreeForm Create」を指します。

FreeForm Create では、視覚的で操作しやすいアプリケーションでバリエブルデータ印刷（VDP）ジョブを作成します。

VDP ジョブでは、書類全体で共通して用いられるマスター要素セットと、出力ごとに異なるバリエブル要素セットを組み合わせます。

これにより、パンフレットの挨拶に顧客名を入れたりデータベースから取得したその他の個人情報を使用するなど、パーソナライズされた印刷物を作成できるようになります。この場合、すべてのパンフレットに共通の背景、イラスト、テキストブロックなどがマスター要素で、名前などの、顧客ごとに異なる情報がバリエブル要素です。

FreeForm Create では、VDP ジョブを簡単にカスタマイズできる 2 つの異なるワークフローを使用します。

ファイルマージワークフローでは、グラフィックベースの直観的なインターフェイスを使用して、マスター書類とバリエブル書類を組み合わせ、カスタマイズされた印刷物を作成します。

バリエブルデータ書類ワークフローでは、マスター書類をデータソーススプレッドシートの変数と直接組み合わせて、カスタマイズされた印刷物を作成します。その際、最初にバリエブル書類を別途作成する必要がなく、バリエブルデータ作成アプリケーションも必要ありません。

システム要件

FreeForm Create を実行するための最小要件は次のとおりです。

macOS

- mac OS X 12.0 以降
- 4 GB 以上の RAM（推奨）
- 7 GB のハードディスクドライブ空き容量
- 最小表示解像度：1280 x 1024

Windows

- Microsoft Windows 10（64 ビット）以降
- Windows Server 2016（64 ビット）、Windows Server 2019、Windows Server 2022
- Intel Core i3 プロセッサ以上
- 4 GB 以上の RAM（推奨）

- 16 GB のハードディスクドライブ空き容量
- 最小表示解像度：1280 x 1024

Fiery システムでの印刷サポート

FreeForm Create は、Fiery システムソフトウェア FS150 以降でサポートされています。

Fiery API

FreeForm Create で印刷するには、接続されている Fiery サーバーに Fiery API をインストールする必要があります。

Fiery API の詳細については、<http://resources.fiery.com/ffc/api> を参照してください。

FreeForm Create 環境設定

FreeForm Create 内で、言語、日付と時刻の形式、測定単位などの環境設定を変更できます。

FreeForm Create 環境設定の変更

- 1 環境設定を変更するには、**作成**ウィンドウで**環境設定**ボタンをクリックします。
環境設定で、以下を変更できます。
 - 言語：FreeForm Create で使用するデフォルト言語を選択します。
 - 測定単位：ピクセル、ミリメートル、インチ、センチメートルまたはポイントをデフォルトの測定単位として選択します。
 - 日付形式：日付の月、日、年を表示するデフォルトの形式を選択します。
 - 時刻形式：時刻の時、分、秒、AM または PM を表示するデフォルトの形式を選択します。
 - Fiery ソフトウェアの改善に協力する - このチェックボックスをオンにすると、FreeForm Create の改善に使用される統計データを共有します。
- 2 **OK** をクリックします。

ファイルマージワークフロー

FreeForm Create のファイルマージワークフローでは、マスター書類とバリエブル書類を組み合わせます。

ファイルマージワークフローでは、FreeForm バリエブルデータテクノロジーを使用して、マスター書類とバリエブル PDF 書類を組み合わせ、Fiery サーバーで印刷される単一の VDP ジョブを作成します。FreeForm Create では、グラフィックインターフェイスを使用してファイルをマージして、VDP ジョブの最終的な外観を指定します。

このワークフローは、Enhanced FreeForm の既存ユーザーが視覚的で操作しやすい方法でマスター書類とバリエブル書類を組み合わせたいと考えている場合に最適です (Command WorkStation でジョブのプロパティからアクセスします)。

マージ書類の作成

FreeForm Create では、ユーザーの仕様に従ってマスター書類とバリエブル書類を組み合わせ、Fiery サーバーで印刷できる FreeForm ファイルを作成します。

以下の点に留意してください。

- .pdf 形式のマスター書類が必要
- .pdf 形式のバリエブル書類が必要

1 作成で、ファイルマージ書類をクリックします。

2 次のいずれかを行って、マスター書類を選択します。

- **参照**をクリックし、マスター書類を見つけて選択する
- マスター書類ファイルを**マスター書類の選択**ウィンドウ上の指定のドロップ位置までドラッグする

メモ: マスター書類は PDF である必要があります。
マスター書類の最初のページが表示されます。

3 オプション: 間違ったファイルを選択した場合は、次のいずれかを行います。

- **変更**をクリックして、正しいファイルを参照する
- **除去**をクリックして、選択をクリアする

4 次へをクリックします。

5 次のいずれかを行って、バリエブル書類を選択します。

- **参照**をクリックし、バリエブル書類を見つけて選択する
- バリエブル書類ファイルを**バリエブル書類の選択**ウィンドウ上の指定のドロップ位置までドラッグする

メモ：バリアブル書類は PDF である必要があります。
バリアブル書類の最初のページが表示されます。


- 6 オプション: 間違ったファイルを選択した場合は、次のいずれかを行います。
 - **変更**をクリックして、正しいファイルを参照する
 - **除去**をクリックして、選択をクリアする
- 7 **作成**をクリックする
- 8 結合した書類にマスターページとバリアブルページを割り当てます。
- 9 マージ書類を保存するか、Fiery サーバーに送信して印刷します。

デザインファイルの変更

ファイルマージのデザインで使用するマスターファイルまたはバリアブルファイルを変更します。


ファイルマージのデザインには、マスターファイルとバリアブルファイルが含まれています。バリアブルファイルを変更せずに、ファイルマージで使用するマスターファイルを変更してデザインを更新することができます。また、マスターファイルを変更せずに、バリアブルファイルを変更して新しい対象ユーザー向けに変数情報を更新することもできます。

マスターファイルの変更

- 1 **デザイン**ウィンドウで、マスターファイルの場合は  をクリックします。
- 2 **変更**をクリックします。
- 3 目的のマスターファイルを選択し、**OK**をクリックします。

メモ：マスターファイルは PDF である必要があります。

バリアブルファイルの変更

- 1 **デザイン**ウィンドウで、バリアブルファイルの  をクリックします。
- 2 **変更**をクリックします。
- 3 目的のバリアブルファイルを選択し、**OK**をクリックします。

メモ：バリアブルファイルは PDF である必要があります。

ファイルマージのデザインにバリアブルページを割り当てる

ファイルマージワークフロー内の特定のマスターページに特定のバリアブルページを割り当てます。

以下の点に留意してください。

マスター書類とバリアブル書類が必要です。

結合した書類のページ数とページの順序が正しいことを確認します。

1 ファイルマージのデザインを開くか作成します。

2 レコードごとのバリアブルページ数を参照してください。

メモ：レコードごとのバリアブルページ数は、VDP レコードを構成するバリアブルページの数を制御します。

3 バリアブル書類ウィンドウから、次のいずれかを行います。

- レコードごとの結合ページ数で、割り当てるバリアブルページを結合ページにドラッグする
- レコードごとの結合ページ数ウィンドウで、結合ページの**変数**ボックスにバリアブルページ番号を入力する

メモ：レコードごとの結合ページ数ウィンドウの下部にあるナビゲーションバーを使用すると、結合ページ間を移動できます。

メモ：バリアブル書類ウィンドウの上部にあるナビゲーションバーを使用すると、使用可能なバリアブルページ間を移動できます。

更新された結合ページが表示されます。

4 必要に応じて手順3を繰り返し、バリアブルページを割り当てます。

メモ：1つのバリアブルページを複数の結合ページに割り当てることができます。

ファイルマージのデザインにページを追加する

1 ファイルマージのデザインを開くか作成します。

2 ページを追加するには、次のいずれかを行います。


- レコードごとの結合ページ数ウィンドウで、ページを右クリックして**ページを前に追加**または**ページを後に追加**を選択する
- レコードごとの結合ページ数ウィンドウで、ページを選択し、**+** をクリックして**ページを前に追加**または**ページを後に追加**を選択する
- **概要**ウィンドウで、**レコードごとの結合ページ数**の値を増やして、ファイルマージデザインの末尾にページを追加する

3 新しいページを選択します。

- 4 新しいページにマスターページやバリアブルページを割り当てます。

メモ：ブランクページを挿入するには、マスターページとバリアブルページを割り当てません。

ファイルマージのデザインからページを削除する

- 1 ファイルマージのデザインを開くか作成します。
- 2 ページを削除するには、次のいずれかを行います。
 - レコードごとの結合ページ数ウィンドウで、ページを右クリックして**削除**を選択する
 - レコードごとの結合ページ数ウィンドウで、ページを選択して  をクリックする

ファイルマージのデザインのプレビュー

保存または印刷する前に、ファイルマージワークフローでバリアブル書類とマスター書類を組み合わせた結果を確認します。

- 1 ファイルマージのデザインを開くか作成します。
- 2 **プレビュー**をクリックします。
- 3 **プレビュー**ウィンドウの下部にあるコントロールバーを使用して、ファイルマージデザインのページをレコード単位またはページ単位で移動します。



ボタンを押し、ドラッグして、コントロールバーを動かします。

- 4 プレビューを確認します。



をクリックするとズームイン、



をクリックするとズームアウトできます。

バリابلデータ書類ワークフロー

FreeForm Create のバリابلデータ書類ワークフローでは、データソース書類から得られる情報をマスター書類と組み合わせます。

バリابلデータ書類ワークフローでは、データソース書類に含まれている情報（テキスト、バーコード、画像）をマスター書類と組み合わせて VDP ジョブを作成します。その際に、バリابل書類ファイルを別途作成したり、バリابلデータアプリケーションを別途使用する必要はありません。

FreeForm Create では、変数を操作し、必要な量の情報をマスターに追加できます。

データソース書類の作成

FreeForm Create のバリابلデータ書類ワークフローで使用するデータソース書類を作成します。

なお、FreeForm Create でサポートしているデータソース書類の形式は.xlsx、.xls、.csv のみです。バリابلデータ書類ワークフロー用のデータソース書類を作成するには、サポートされている形式で書類を保存できるスプレッドシートアプリケーションを使用します。

バリابلデータ書類ワークフローで、データソース書類は結合された書類で使用されるバリابل情報を提供します。

- 1 スプレッドシートアプリケーションで、最初の行に変数名を入力します。セルごとに 1 つの変数名を使用します。
 - スプレッドシートの最初の行は列見出しとして機能し、バリابلフィールドの名前を示します。
 - 各列にはバリابلフィールドを指定します。
 - 10 列のデータソース書類には、10 個のバリابلフィールドがあります。
- 2 ファイルアクセラレータを使用して、最初の行に画像タイプとバーコードタイプの変数を指定します。

変数タイプ	ファイルアクセラレータ	列見出しの例	データソースの変数エントリ	変数ファイルの場所
画像	[]	[images	C:/users/John/pictures/pic001.png	C:/users/John/pictures/pic001.png
画像	[]	[C:/users/John/pictures]images	pic002.png	C:/users/John/pictures/pic002.png

変数タイプ	ファイルアクセラレータ	列見出しの例	データソースの変数エントリ	変数ファイルの場所
画像	[~]	[~/images]images	./pic003.png	C:/users/John/project/images/ pic003.png データソースファイルが C:/users/ John/project にある場合
PDF	{}	{pdfs}	C:/users/John/pdfs/ pdf001.pdf	C:/users/John/pdfs/pdf001.pdf
PDF	{}	{C:/users/John/ pdfs}pdfs	pdf002.pdf	C:/users/John/pdfs/pdf002.pdf
PDF	{-}	{-}pdfs	./pdf003.pdf	C:/users/John/project/pdfs/ pdf003.pdf データソースファイルが C:/users/ John/project にある場合
バーコード (例: QR コード内の URL)		barcodes	http://examplesite.com/ barcodes/A001	http://examplesite.com/barcodes/ A001
数量	#	#quantity	200	

3 レコードを入力します。

- 各行は、1つのレコードの変数を指定します。
- 10行のデータソース書類には、10個のレコードがあります。

4 ファイルを保存します。

メモ: FreeForm Create では、データソース書類が.xlsx、.xls、.csvのいずれかの形式でなければなりません。

データソース書類にレコード数を追加する

FreeForm Create から Fiery サーバーにデザインを送信する際は、データソース書類にレコード数を追加して、レコードを複数部数印刷することができます。これは名刺のように各レコードの部数を多数印刷する必要がある特定のジョブを印刷する場合や、面付けワークフローをサポートする場合に便利です。

なお、FreeForm Create でサポートしているデータソース書類の形式は.xlsx、.xls、.csvのみです。

- 1 スプレッドシートアプリケーションで、データソース書類を開きます。
- 2 #数量をヘッダーとした列を追加します。
- 3 同じ列に各レコードに必要な部数を入力します。
- 4 ファイルを保存します。



バリアブルデータ書類の作成

マスター書類とデータソースファイルを組み合わせ、Fiery サーバーで印刷できる FreeForm ファイルを作成します。

以下の点に留意してください。

- .pdf 形式のマスター書類が必要
 - .xlsx、.xls、.csv のいずれかの形式のデータソース書類が必要
- 1 **作成**で**バリアブルデータ書類**をクリックします。
 - 2 次のいずれかを行って、マスター書類を選択します。
 - **参照**をクリックし、マスター書類を見つけて選択する
 - マスター書類ファイルを**マスター書類の選択**ウィンドウ上の指定のドロップ位置までドラッグする
マスター書類の最初のページが表示されます。
 - 3 オプション: 間違ったファイルを選択した場合は、次のいずれかを行います。
 - **変更**をクリックして、正しいファイルを参照する
 - **除去**をクリックして、選択をクリアする
 - 4 **次へ**をクリックします。
 - 5 次のいずれかを行って、データソース書類を選択します。
 - **参照**をクリックし、データソース書類を見つけて選択する
 - データソース書類ファイルを**データソース書類の選択**ウィンドウ上の指定のドロップ位置までドラッグする

メモ: データソース書類は.xlsx、.xls、.csv のいずれかのファイルである必要があります。
データソース書類に記載されている変数が表示されます。
 - 6 オプション: 間違ったファイルを選択した場合は、**変更**をクリックして正しいファイルを参照します。
 - 7 変数として使用する列をデータソース書類から選択します。

メモ: 画像変数の場合は  を選択し、バーコード変数の場合は  を選択します。
 - 8 **作成**をクリックします。
 - 9 変数を追加し、必要に応じて編集します。
 - 10 バリアブルデータ書類を保存するか、Fiery サーバーに送信して印刷します。

バリアブルデータ書類デザインでファイルを変更する

バリアブルデータ書類デザインで使用するマスターファイルまたはデータソースファイルを変更します。


バリアブルデータ書類デザインでは、マスターファイルとデータソースファイルを組み合わせることで VDP 出力を作成します。バリアブルデータ書類デザインで使用するマスターファイルを変更して、データソースファイルを変更せずにデザインを更新できます。また、マスターファイルを変更せずにデータソースファイルを変更して、新しい対象ユーザー向けに変数情報を更新することもできます。

マスターファイルを編集する

- 1 **デザイン**ウィンドウで、マスターファイルのページを右クリックします。
- 2 次のいずれかを選択します。
 - 以前にコピーしたページを挿入するには、**貼り付け**を選択します。
 - 選択したページの前に空白ページを挿入するには、**ページを前に追加**を選択します。
 - 選択したページの後に空白ページを挿入するには、**ページを後に追加**を選択します。
 - 選択したページをデザインから削除するには、**ページを削除**を選択します。


メモ：マスターファイルは PDF である必要があります。

マスターファイルの変更

- 1 **デザイン**ウィンドウで、マスターファイルの  をクリックします。
- 2 **変更**をクリックします。
- 3 目的のマスターファイルを選択し、**OK**をクリックします。

メモ：マスターファイルは PDF である必要があります。

データソースの変更

- 1 **デザイン**ウィンドウで、データソースの  をクリックします。
- 2 **変更**をクリックします。
- 3 目的のデータソースファイルを選択し、**OK**をクリックします。

メモ：データソース書類は.xlsx、.xls、.csv のいずれかのファイルである必要があります。

バリアブルフィールドの追加


バリアブルデータ書類のデザインでページにバリアブルフィールドを追加します。

- 1 バリアブルデータ書類のデザインを開くか作成します。
- 2 ナビゲーションバーを使用して、変数を追加するページに移動します。
- 3 **デザイン**ウィンドウで、追加するバリアブルフィールドを検索します。
 デザインウィンドウの**バリアブルフィールドを検索**ボックスを使用して、変数を検索します。
- 4 変数をクリックし、ページ上の目的の場所にドラッグします。
- 5 **プロパティ**ウィンドウに一覧表示されているバリアブルプロパティを必要に応じて編集します。
 バリアブルプロパティの一覧については、[バリアブルフィールドプロパティ \(15 ページ\)](#) を参照してください。

バリアブルフィールドプロパティ

バリアブルデータ書類デザインの編集時に使用できるさまざまなバリアブルフィールドプロパティの一覧

メモ:

プロパティのドッキング解除 () をクリックすると、バリアブルプロパティウィンドウがフロート表示されます。


プロパティをドッキング () をクリックすると、バリアブルプロパティウィンドウが画面の右側にドッキングされます。

表 1: バリアブルフィールドプロパティ

変数タイプ	使用可能なプロパティ	コントロール	関数
テキストフィールド/カスタムテキスト/データオブジェクト	変数	データを含まないフィールドは、1つのテキストボックスに重ねて表示されると折りたたまれます。	テキストボックスに含まれている変数を表示する
	ファイル名	なし	FreeForm Plus 書類ファイル名を表示します。
	ページ番号	なし	レコードページ番号を表示します。

変数タイプ	使用可能なプロパティ	コントロール	関数
	日付	形式 <ul style="list-style-type: none"> • DD-MM-YYYY • DD MMMM YYYY • dddd, DD MMMM YYYY • YYYY-MM-DD • MMMM DD, YYYY • dddd MMMM Do YYYY 	印刷時の日付を表示します。 日付の表示に使用する形式を選択します。
	時刻	形式 <ul style="list-style-type: none"> • HH:mm • HH:mm:ss • h:mma • hh:mm:ssa • h:mm A • h:mm:ss A 	印刷時刻を表示します。 時刻の表示に使用する形式を選択します。
	レコード ID	なし	FreeForm Plus レコード番号を表示します。
	順序番号	スタート <hr/> ステップ <hr/> 桁数 <hr/> 接頭辞 <hr/> 接尾辞	指定された開始番号と段階的増加量で各レコードに数字シーケンスを生成します。 メモ: ネガティブ段階的増加量を指定すると、順序番号は開始数字から降順にカウントされます。 順序番号の最小桁数を指定します。指定された桁数より少ない数字では、指定された最小長を満たすために、先行する 0 を追加で埋め込みます。

変数タイプ	使用可能なプロパティ	コントロール	関数	
	位置	<ul style="list-style-type: none"> • X 軸 • Y 軸 	マスターページ上で選択したバリアブルテキストフィールドボックスの位置を変更します。	
	サイズ	<ul style="list-style-type: none"> • 幅 • 高さ 	バリアブルテキストフィールドボックスのサイズを制御します。	
	フォント	フォント	フォント	システムで使用できるフォントから選択します。
		フォントの太さを選択		選択したバリアブルテキストフィールドボックスで使用するフォントの太さを変更します。
		マスターで使用		マスターファイルで使用されているフォントを確認します。
		フォントサイズ		フォントサイズを選択します。
		フォントの色		フォントの色を選択します。 メモ: 色はカラーパレットツールを使用して CMYK、HSL、Hex、RGB で選択するか、カスタムスポットカラーを追加することによって選択できます。 カラー選択ウィンドウの スポットカラー タブにあるインポートアイコンをクリックして、Adobe Swatch Exchange (.ase) 形式でカスタムスポットカラーをインポートします。 色を選択し カラー追加 をクリックして、色を プリセットカラー として保存します。
	テキスト配置	左に位置揃え		バリアブルテキストフィールドボックスの左側にテキストを揃えます。
		中央		バリアブルテキストフィールドボックスの中央にテキストを揃えます。

変数タイプ	使用可能なプロパティ	コントロール	関数
		右に位置揃え	バリアブルテキストフィールドボックスの右側にテキストを揃えます。
	角度	テキストボックスの角度	バリアブルテキストフィールドボックスの角度を度で設定します。
	塗りつぶし	<ul style="list-style-type: none"> • 塗りつぶしチェックボックス • 塗りつぶしの色 	<p>塗りつぶしチェックボックスをオンにすると、ハイライトされたテキストバリアブルの背後の塗りつぶしが有効になります。</p> <p>バリアブルテキストフィールドボックスの背景色を変更するには、塗りつぶしの色をクリックします。</p> <p>メモ:色はカラーパレットツールを使用して CMYK、HSL、Hex、RGB で選択するか、カスタムスポットカラーを追加することによって選択できます。</p> <p>カラー選択ウィンドウのスポットカラータブにあるインポートアイコンをクリックして、Adobe Swatch Exchange (.ase) 形式でカスタムスポットカラーをインポートします。</p> <p>色を選択しカラー追加をクリックして、色をプリセットカラーとして保存します。</p>
	行の高さ	テキストボックスの行の高さ	テキストボックスの行の高さを制御します。
画像	位置	<ul style="list-style-type: none"> • X 軸 • Y 軸 	X 座標および Y 座標で決まるマスターページ上の位置に、選択したバリアブルイメージを配置します。
	サイズ	<ul style="list-style-type: none"> • 幅 • 高さ 	バリアブルイメージのサイズを制御します。
	適合	縦横比固定	イメージバリアブルの元の比率を使用します。

変数タイプ	使用可能なプロパティ	コントロール	関数
		引き伸ばす	指定したサイズに合わせてイメージバリアブルを引き伸ばします。 メモ: この設定では、イメージが歪む可能性があります。
		リセット	データソースファイルからインポートした設定にイメージをリセットします。
	角度	イメージの角度	イメージの角度を度の単位で設定します。
PDF オブジェクト	位置	<ul style="list-style-type: none"> • X 軸 • Y 軸 	X 座標および Y 座標で決まるマスターページ上の位置に、選択した PDF オブジェクトを配置します。
	サイズ	<ul style="list-style-type: none"> • 幅 • 高さ 	PDF オブジェクトのサイズを制御します。
バーコード	変数	なし	バーコード変数名を表示します。
	位置	<ul style="list-style-type: none"> • X 軸 • Y 軸 	マスターページで選択したバーコード変数の位置を変更します。
	サイズ	<ul style="list-style-type: none"> • 幅 • 高さ 	バーコード変数のサイズを制御します。 メモ: このプロパティは、すべてのバーコードタイプに使用できるわけではありません。
	タイプ	使用可能なバーコードタイプから選択します。	データソースファイルに含まれているバーコード変数と一致するようにバーコードタイプを設定します。
	バーテキスト	なし	バーコードと共に表示されるテキストを表示します。
	拡大縮小	<ul style="list-style-type: none"> • X 軸 • Y 軸 	X 軸と Y 軸のバーコード変数の倍率を変更します。

リッチテキスト書式を使用してテキストを書式設定する

Fiery FreeForm Create 1.5 では、**リッチテキスト書式**がサポートされています。太字、斜体、下線、フォント、フォントサイズ、カラーなど、複数のスタイル機能と書式をテキストボックス内のテキストに適用できます。

リッチテキスト書式を使用する

- 1 **デザイン**ペインで、リッチテキスト書式を適用するテキストを含むテキストブロックを選択します。
- 2 **プロパティ**ペインで**リッチテキストの編集**をクリックします。
- 3 **リッチテキストの編集**ウィンドウで、リッチテキスト書式を追加するテキストを選択します。同じテキストブロック内の異なるテキストに異なるテキスト書式を適用できます。
- 4 選択したテキストにカスタム機能を適用するには、次のいずれかのオプションを選択してください。
 - **太字 (B)** は、太字の書式を適用します。
 - **斜体 (I)** は、斜体書式を適用します。
 - **下線 (U)** は、下線の書式設定を適用します。
 - フォントファミリーメニューからカスタムフォントファミリーを選択します。
 - フォントサイズを選択して、カスタムサイズを適用します。
 - **カラー (A)** ボタンを選択し、カラーピッカーを使用してカラーまたはスポットカラーを選択するか、**プリセットカラー**から選択して**OK**をクリックします。
- 5 **保存**をクリックします。

リッチテキスト書式をコピーして適用する

フォーマットコピーおよびフォーマットペインティングツールを使用して、テキストの1つのセクションからフォーマットをコピーし、それを別のセクションに適用できます。

- 1 **デザイン**ペインで、スタイルをコピーするテキストを含むテキストブロックを選択します。
- 2 **プロパティ**ペインで**リッチテキストの編集**をクリックします。
- 3 コピーするスタイルのテキストを選択し、**形式をコピー (A)** をクリックします。
- 4 テキストスタイルを適用するデザイン内のテキストを選択します。同じテキストフィールドでテキストを選択するか、**キャンセル**をクリックしてリッチテキストエディターを閉じ、別のテキストフィールドを選択してから、**プロパティ**ペインの**リッチテキストの編集**をクリックしてから、テキストスタイルを適用するテキストを選択します。
- 5 **形式を適用 (A)** をクリックします。
- 6 **保存**をクリックします。

テキスト変数の角度を変更する

変数ベースのデザインに追加したテキスト変数の角度を変更します。

- 1 テキスト変数を配置したページに移動します。
- 2 中央ウィンドウのテキスト変数ボックスをクリックして選択します。
選択すると、中央ウィンドウの変数が、上部から線が伸びた赤いボックスで囲まれます。
- 3 選択ボックスの上部から伸びた赤い線の上端にカーソルを置き、カーソルが十字形になったところで止めます。
- 4 クリックして長押しし、テキスト変数が目的の角度になるまでカーソルをドラッグします。

画像の角度を変更する

変数ベースのデザインに追加した画像の方向を変更します。

- 1 画像変数を配置したページに移動します。
- 2 ページ上の画像をクリックして選択します。
選択すると、中央ウィンドウの変数が、上部から線が伸びた青いボックスで囲まれます。
- 3 選択ボックスの上部から伸びた青い線の上端にカーソルを移動し、カーソルが十字形になるまでそこに置きます。
- 4 クリックして長押しし、画像変数が目的の方向になるまでカーソルをドラッグします。

バーコードの方向を変更する

変数ベースのデザインに追加したバーコードの方向を変更します。


- 1 バーコード変数を配置したページに移動します。
- 2 ページ上のバーコードをクリックして選択します。
選択すると、中央ウィンドウの変数が、上部から線が伸びた青いボックスで囲まれます。
- 3 選択ボックスの上部から伸びた青い線の上端にカーソルを移動し、カーソルが十字形になるまでそこに置きます。
- 4 クリックして長押しし、バーコードが目的の方向になるまでカーソルをドラッグします。

メモ：バーコードは 90°単位でのみ回転します。

- 5 バーコードのサイズを小さくするには、**サイズ**の値を変更します。
- 6 バーコードのスケールを大きくするには、**スケール**の値を増やします。





バーコードへのカラーの適用





バーコード、バーコードテキスト、およびバーコード背景に固有のカラーまたはスポットカラーを適用できます。

- 1 バーコード変数を配置したページに移動します。
- 2 ページ上のバーコードをクリックして選択します。
プロパティペインに**バーコードスタイル設定**が表示されます
- 3 次のいずれかのカラー選択オプションを選択します。
 - **カラーピッカー**：バーコードカラー、バーコードテキストカラー、およびバーコード背景カラーに個別のカラーオプションを指定します。
カラーを適用するバーコードの横にあるカラーボックスをクリックし、カラーピッカーを使用してカラーの選択、CMYK 値の指定、またはプリセットカラーから選択し、選択したバーコード要素にカラーを割り当てます。
 - **スポットカラー**：スポットカラーグループを指定し、バーコードとバーコードテキストの両方に適用するスポットカラーを選択します。
バーコードおよびテキストカラーの横にあるカラーボックスをクリックし、スポットカラーグループを選択するか、**新規グループをインポート** () を選択してバーコードおよびバーコードテキストに適用するスポットカラーを選択します。
- 4 OK をクリックします。



変数の配置

バリエブルデータ書類のデザインでは、変数配置ボタンを使用して、選択した領域内にある 2 つ以上の変数のグループを自動的に配置します。

- 1 バリエブルデータ書類のデザインを開くか作成します。
 - **メモ**：配置機能を利用するには、1 つのマスターページに 2 つ以上の変数が必要です。
- 2 マスターページをクリックし、ボックスが目的のサイズになるまでカーソルをドラッグして、領域を選択します。
ボックスで定義された領域に含まれている変数がすべて選択されます。
- 3 適切な配置ボタンをクリックします。
 - **水平方向に割付** ()：選択した変数ボックスを、選択した領域内で水平方向に均等に配置する
 - **垂直方向に割付** ()：選択した変数ボックスを、選択した領域内で垂直方向に均等に配置する
 - **左に位置揃え** ()：選択した変数ボックスを、選択した領域の左端に揃える
 - **縦中央に位置揃え** ()：選択した変数ボックスを、選択した領域の縦方向の中央に揃える

- **右に位置揃え** (): 選択した変数ボックスを、選択した領域の右端に揃える
- **上に位置揃え** (): 選択した変数ボックスを、選択した領域の上端に揃える
- **横中央に位置揃え** (): 選択した変数ボックスを、選択した領域の横方向の中央に揃える
- **下に位置揃え** (): 選択した変数ボックスを、選択した領域の下端に揃える

プロパティウィンドウのフロート表示とドッキング

- 1 **プロパティのドッキング解除** () をクリックすると、プロパティウィンドウがフロート表示されます。
- 2 **プロパティをドッキング** () をクリックすると、プロパティウィンドウが画面の右側にドッキングされます。



レイアウトアシスタンスツール

プロパティウィンドウのレイアウトアシスタンスツールを使用して、内容を配置したり書類をレイアウトしたりできます。


デフォルト単位でグリッドラインを表示して、書類の内容を配置できます。グリッドを表示すると、測定ツールが書類左上角の 0、0 原点に対する X、Y 座標を使用して、選択した内容の位置を表示します。


マスター PDF ファイルに PDF クロップボックス、ブリードボックスまたはトリムボックスが定義されている場合は、**PDF ページボックスを表示** ボタンを使用してこれらのボックスを表示し、書類内の内容を配置できます。

グリッドの表示または非表示

- 1 **グリッドを表示** () をクリックして、調整グリッドを表示します。
- 2 **グリッドを非表示** () をクリックして、調整グリッドを非表示にします。

PDF ページボックスの表示または非表示

- 1 **PDF ページボックスを表示** () をクリックして、PDF クロップボックス、ブリードボックス、トリムボックスを表示します。

- 2 PDF ページボックスを非表示 () をクリックして、PDF クロップボックス、ブリードボックス、トリムボックスを非表示にします。


すべてのページにコピー

バリアブルデータ書類デザインのすべてのマスターページにバリアブルオブジェクトをコピーします。

- 1 バリアブルデータ書類のデザインを開きます。
- 2 イメージ、PDF ファイル、バーコード、カスタムテキストなど、デザイン内の各レコードのマスターページごとに表示するバリアブル要素を右クリックします。
- 3 **メモ：**このオプションは、マスターファイルに複数のページがある場合にのみ表示されます。
すべてのページにコピーを選択します。


バリアブルフィールドの削除

バリアブルデータ書類のデザインでページからバリアブルフィールドを削除します。

- 1 バリアブルデータ書類のデザインを開きます。
- 2 ナビゲーションバーを使用して、変数を削除するページに移動します。
- 3 そのページで、削除するバリアブルフィールドをクリックします。
- 4 次のいずれかを行います。
 - **削除** () をクリックする
 - **Delete** キーを押す
 - 右クリックして**削除**を選択する

バリアブルフィールドの複製

バリアブルデータ書類のデザインでページからバリアブルフィールドを複製します。

- 1 バリアブルデータ書類のデザインを開きます。
- 2 ナビゲーションバーを使用して、変数を複製するページに移動します。
- 3 そのページで、複製するバリアブルフィールドをクリックします。
- 4 次のいずれかを行います。
 - **複製** () をクリックする
 - 右クリックして**複製**を選択する

マルチ-up マスターを使用する

コンテンツをグループ化し、グループ化したコンテンツをコピーして貼り付けることによって、レイアウトに複数のレコードが含まれるマスターレイアウト書類を作成できます。グループ化されたコンテンツが貼り付けられるたびに、データソース内の次のレコードが自動的に選択されます。レイアウトで複数のグループを使用できます。グループを選択すると、そのグループに関連付けられているグループ番号とレコード番号が **プロパティ** ウィンドウに表示されます。

- 1 **デザイン** ペインで、レコード用にグループ化するすべてのオブジェクトを選択します。 **Shift** キーを押しながら各オブジェクトをクリックするか、領域をドラッグして複数のオブジェクトを選択できます。
- 2 グループ化されたコンテンツをコピーするには、次のいずれかを行います。
 - 右クリックして **複製** を選択します。
 - **ファイル > コピー** を選択します。
- 3 グループ化されたコンテンツを貼り付けてマスターレイアウトで新しいレコードとして使用するには、次のいずれかの操作を行います。
 - 右クリックして **貼り付け** を選択します。
 - **ファイル > 貼り付け** を選択します。

貼り付けられた各グループは、データソースの次のレコードデータセットを使用します。ページ上のレコードの順序は、グループ化されたオブジェクトの配置順序に対応します。

変数ベースのデザインをプレビューする

印刷する前に、バリエブルデータ書類ワークフローで、変数とマスター書類を組み合わせた結果を調べます。

- 1 バリエブルデータ書類のデザインを開くか作成します。
- 2 **プレビュー** をクリックします。
- 3 **プレビュー** ウィンドウの下部にあるコントロールバーを使用して、変数ベースデザインのページをページ単位で移動します。



ボタンを押し、ドラッグして、コントロールバーを動かします。

- 4 左側のウィンドウでレコードを選択して、そのレコードを使用するデザインをプレビューします。

メモ： 左側ペインにある **フィルター** を使用して、レコードの検索結果を絞り込みます。すべての変数が正しく表示されるように、**最長** レコードと **最短** レコードで絞り込みます。

- 5 プレビューを調べます。



をクリックするとズームイン、



をクリックするとズームアウトできます。

デザインの保存

- 1 **保存**をクリックします。
- 2 ファイルの場所を選択します。
- 3 ファイルの名前を入力します。
- 4 **保存**をクリックします。

Fiery サーバーにデザインを送信する

デザインを Fiery サーバーに送信して印刷します。FreeForm Create は設定を記憶し、次回の印刷時にも同じ設定が選択されます。

以下の点に留意してください。

- Fiery サーバーに初めてデザインを送信する場合は、その Fiery サーバーのサーバーアドレスまたはサーバー名、ユーザー名、パスワードが必要です。Fiery のシステム管理者ユーザー名は **Admin** で、システム管理者パスワードが必要です。
- 編集が完了している必要があります。

1 **Fiery サーバーに送信**をクリックします。

2

既存の Fiery サーバーを選択するか、**Fiery 追加** (**+**) をクリックして新しい Fiery サーバーを追加します。

3 **Fiery サーバー**ウィンドウで、Fiery サーバーの**サーバーアドレス**または**サーバー名**、**ユーザー名**、**パスワード**を入力します。

4 **ログイン**をクリックします。

5 オプション: **設定**リストから適切な設定を選択します。

6 **メモ**: **Fiery FreeForm Plus を使用してファイルを処理**チェックボックスは、FS400 以降の Fiery サーバーでのみ使用でき、デフォルトで選択されています。

FS400 以降の Fiery サーバーでは、特定のジョブの処理に予想以上の時間がかかる場合があります。この場合は、印刷前に **Fiery FreeForm Plus を使用してファイルを処理**チェックボックスをオフにすると、従来の FreeForm 出力を使用して処理を高速化できます。

7 **処理後待機**をクリックするか、リストから Fiery サーバーの別のジョブアクションを選択します。

次のジョブアクションから選択します。


- **処理後待機**: ファイルを処理して**待機**キューに入れます。
- **待機**: ファイルを**待機**キューに入れます。
- **印刷**: ファイルを印刷します。
- **印刷後待機**: ファイルを印刷して**待機**キューに入れます。

単一レコードの PDF プレビューを保存する

単一のレコードをソフト校正 PDF プレビューとして保存できます。

1 デザインを開くか作成します。


- 2 **プレビュー**をクリックします。
- 3 **レコード**をクリックして PDF プレビューとして保存します。
- 4 次のいずれかの操作を行います。

- **PDF プレビュー** () をクリックします。
- **ファイル > エクスポート** を選択します。

- 5 PDF プレビューを保存する場所を指定します。
- 6 PDF プレビューの名前を指定し、**保存**をクリックします。
FreeForm Create は、指定されたレコードから PDF プレビューを保存します。

レコード範囲を Fiery サーバーに送信する

Fiery サーバーに印刷するレコードを選択できます。

- 1 **Fiery サーバーに送信**をクリックします。
- 2 既存の Fiery サーバーを選択するか、**Fiery 追加** () をクリックして新しい Fiery サーバーを追加します。
- 3 **範囲選択**ボタンをクリックします。
- 4 レコード範囲を指定します。レコード番号やレコード範囲を複数指定する場合はカンマで区切ります。
- 5 オプション: **設定**リストから適切な設定を選択します。
- 6 **処理後待機**をクリックするか、リストから Fiery サーバーの別のジョブアクションを選択します。
次のジョブアクションから選択します。
 - **処理後待機**: ファイルを処理して**待機**キューに入れます。
 - **待機**: ファイルを**待機**キューに入れます。
 - **印刷**: ファイルを印刷します。
 - **印刷後待機**: ファイルを印刷して**待機**キューに入れます。

FreeForm Create は指定されたレコードを Fiery サーバーに送信します。

小さいバッチで Fiery サーバーにデザインを送信する

Fiery サーバーに小規模なジョブのバッチでデザインを送信して印刷できます。これは、非常に大きいデザインを送信する場合に便利です。

- 1 **Fiery サーバーに送信**をクリックします。

- 2 既存の Fiery サーバーを選択するか、**Fiery 追加** (**+**) をクリックして新しい Fiery サーバーを追加します。
- 3 **バッチサイズ** ボタンをクリックします。
- 4 各バッチに印刷するレコードの数を指定します。
- 5 オプション: **設定** リストから適切な設定を選択します。
- 6 **処理後待機** をクリックするか、リストから Fiery サーバーの別のジョブアクションを選択します。
次のジョブアクションから選択します。
 - **処理後待機**: ファイルを処理して**待機**キューに入れます。
 - **待機**: ファイルを**待機**キューに入れます。
 - **印刷**: ファイルを印刷します。
 - **印刷後待機**: ファイルを印刷して**待機**キューに入れます。

FreeForm Create では、指定されたレコード数を使用してジョブが複数のジョブに分割されます。

FreeForm Create を使用する Fiery サーバーを管理する

FreeForm Create で使用している Fiery サーバーを追加および削除できます。

1 **Fiery サーバーに送信**をクリックします。

2

Fiery サーバーを追加または削除するには、**Fiery サーバーの管理** () をクリックします。


FreeForm Create から印刷する Fiery サーバーを追加する

FreeForm Create から印刷する Fiery サーバーを追加できます。

以下の点に留意してください。

- Fiery サーバーに初めてデザインを送信する場合は、その Fiery サーバーの**サーバー名**または**サーバーアドレス**、**ユーザー名**、**パスワード**が必要です。Fiery サーバーのシステム管理者ユーザー名は **Admin** で、システム管理者パスワードが必要です。
- 編集が完了している必要があります。

1

Fiery 追加 () をクリックして、新しい Fiery サーバーを追加します。


2 Fiery サーバーの**サーバー名**または**サーバーアドレス**、**ユーザー名**、**パスワード**を入力します。

3 **ログイン**をクリックします。

FreeForm Create で使用されている Fiery サーバーを削除する

FreeForm Create で使用されている Fiery サーバーを削除できます。

1

削除する Fiery サーバーのアドレスの横にある**削除** () をクリックします。

2 **はい**をクリックして、選択した Fiery サーバーの削除を確認します。